

スポーツ推進委員だより



平成28年3月発行
第32号
桶川市スポーツ
推進委員連絡協議会

パノラマ台

市民ハイキング

10月24日(土) 出発時、晴れていなかったので、山頂からの眺めを期待しながら精進湖駐車場へ向いました。精進湖登山口から、パノラマ台山頂、烏帽子岳を越えて本栖湖駐車場までのハイキングコースでしたが、登山中は木々に囲まれて景色はあまり見えず、それゆえに頂上付近になって視界が段々と広がってきて、目の前に富士山の裾野が広がると参加者の方々から歓声が聞こえてきました。昼食休憩40分の間でしたが、富士山山頂の景色は留まることなく変化するため心配でしたが、眼下に見える二つの湖と広大な樹海を見ることができて良かったです。

行きに八王子ICでの事故渋滞のため、予定を50分遅れての行程になりましたが、山頂の時点で予定どおりに追いつき、西口には予定より早く到着しました。参加者の皆様が健脚でした。ありがとうございました。



市民ミニバレー大会

9月6日(日) 桶川サン・アリーナにおいて、第9回市民ミニバレー大会を開催いたしました。参加は1チーム4〜6人で、一般男子の部4チーム、一般女子の部4チーム、シニア女子の部8チームの合計16チーム77名でした。

試合は部門毎にリーグ戦で勝敗を競いました。シニア女子はチーム数が多く2つに分かれて行い、勝者同士で優勝決定戦を行いました。各チームとも、日ごろの練習の成果を十分に発揮され良い試合が出来たと思います。ボールの動きによく慣れており、なかでもネット際のプレーには目を見張るものがありました。

各部門の優勝チームは以下の通りでした。

一般男子の部：最強杏仁豆腐

一般女子の部：かりっとぼんだ

シニア女子の部：キララグリーン



一般男子優勝 最強杏仁豆腐



一般女子優勝 かりっとぼんだ



シニア女子優勝 キララグリーン

埼玉県スポーツ推進委員協議会

第1回研修会

9月26日(土)埼玉県スポーツ推進委員協議会第1回研修会がスポーツ総合センターにおいて行われました。大沼会長、岩崎副会長、竹本、田坂、木村、山田、米山の7名が参加しました。

午前は講義Ⅰ「ゼネラルオリエンテーション」・講義Ⅱ「アスリート理解」で講師は公益財団法人スペシャルオリンピックス日本東洋大学社会学部 志村健二氏でした。

午後からは実技体験「障がい者の指導」について、卓球と陸上に分かれ、それぞれ実技体験をしました。

講義Ⅰ、Ⅱでスペシャルオリンピックスを初めて理解しました。パラリンピックは知っていますが、スペシャルオリンピックスの使命は年間を通じてさまざまなオリンピック形式のスポーツのトレーニングと競技会を知的障害のある人たちに提供するものだということが、スペシャルオリンピックスは体力の向上にはもちろんのこと、勇気を表現することや、楽しみを経験するためにも、継続的な機会を提供していくこと、アスリートはスペシャルオリンピックスのプログラムに参加することで技術や友情を、家族、地域の人々や他のアスリートと一緒に分かち合うことが出来るということを知りました。知的障害のある人と健常者がスポーツを通じて喜びを分かち合える場づくりは地域を良く知っているスポーツ推進委員の役割が必要だと感じました。

実技体験ではアスリート達と楽しいひと時を過ごすことが出来、色々なことを教えて頂いた気持ちがありました。



埼玉県スポーツ推進委員協議会

第2回研修会

2月6日(土)スポーツ総合センターにおいて埼玉県スポーツ推進委員協議会第2回研修会が開催されました。午前中は講座Ⅰ、講座Ⅱを受講し、午後は実技研修を行いました。講座Ⅰでは、愛媛県で開催された全国大会の報告がありました。埼玉県からは11名が参加し、文部科学大臣表彰を4名、全国連合功労表彰を8名、30年勤続表彰を2名、優良団体表彰を深谷市が受賞されました。講座Ⅱでは、キネシオテーピングの講習を受講しました。5名のキネシオテーピング協会指導員の方々から、肩、腰、膝、ふくろはぎのテーピング方法の説明を受けました。参加者の積極的な受講態度が素晴らしいです。午後の実技では、新感覚のスポーツ・レクリエーション「チャレンジ・ザ・ゲーム」を(公財)日本レクリエーション協会の講師2名の方から、16種目中6種目の競技方法を受講しました。

参加者を6グループに分けてローテーションして6種目全部を体験しました。全員で声を出しながら力を合わせて高得点にチャレンジしました。他市の推進委員さんとの即席チームでしたが、初めての人達とふれあい交流ができましたし、何よりも成功した時の達成感を味わうことができました。ラダーゲッターなど、すでに桶川市で取り入れているゲームもありましたが、ニュースポーツとして紹介したいゲームばかりでした。



シルバー レクリエーション大会

9月27日(日) 桶川サン・アーリーナにおいて、シルバーレクリエーション大会を開催いたしました。
34名の参加者のもとグラウンド・ゴルフ、ディスクゲッター、スポーツ吹矢の3種目を行いました。
グラウンド・ゴルフ

男子の部

- 1位 福島 外義
- 2位 長谷川富也
- 3位 加藤 昌正

男子の部

- 1位 向 孝
- 2位 杉内 光昭
- 3位 佐藤 貞二

男子の部

- 1位 杉内 光昭
- 2位 保泉 高一
- 3位 横森 繁



女子の部

- 1位 加藤 美好
- 2位 堤 多賀子
- 3位 佐藤 徳子

女子の部

- 1位 保泉 裕子
- 2位 丸山 孝子
- 3位 大塚いつ子

女子の部

- 1位 堤 多賀子
- 2位 野崎 幸子
- 3位 岡野 久子



ファミリーニュースポーツフェスティバル

11月28日(土) 桶川東小学校において、ファミリーニュースポーツフェスティバルが開催されました。
小学生親子参加者19名(保護者9名小学生10名)の8組でした。

種目はディスクゴルフ、グラウンド・ゴルフが校庭で行われ、ラダーゲッター、スポーツ吹矢、室内ペタンク、ディスクゲッターは体育館で行われました。始めに種目ごとのルール説明がありその後練習をして、競技を始めました。練習をしてもなかなか上手くいかず、悔しがりながらやる子や、子供には負ける訳にはいかないと頑張るお父さんお母さんの真剣な姿が見られ、子供達も親に刺激されて一生懸命にやる姿が印象に残りました。

家族でどこか観光地に行くことも楽しいですが、親子で同じ競技にチャレンジすることも良い思い出になったことでしょうか。参加頂いた親子の皆さんありがとうございました。



おけがわふれんどリー フットサル大会

10月3日(土) スポーツ日和となったこの日、舎人スポーツ・パーク フットサルコート2面で第2回大会が開催されました。

当日棄権チームがあり、急きょ即席チームを立ち上げて6チームの参加で行われました。

予選は3チームのリーグ戦形式で、決勝進出順位を争いました。開始早々のゴールあり、ベンチからのユニークな声援あり、ローカルルールの適用ありと、どこか和んでしまう場面もありました。

決勝トーナメントでは、7分ハーフとはいえ結構ハードな戦いがありました。特に決勝戦はスピード感ある攻防戦となり見応えがありました。

参加者たちは気持ちの良い青空のもと、爽やかな汗を流していました。これからは女子の参加も期待してチームを作り、挑戦してみたいかがでしょうか。

大会結果は以下のとおりです。

優勝 AISOFY (あいそふいー)

準優勝 ガウディ

3位 元桶中サッカー部



南部支部北地区連絡協議 会(北地区)女性研修会

12月19日(土) 南部支部北地区連絡協議会(北地区) 女性研修会が桶川サン・アリーナ(サブアリーナ)において、3市43名の参加で行われました。今年度は上尾市が担当で、実技研修として①準備体操②頭の体操③レクゲームの実技研修が行われました。

「頭の体操」手と足を使いながらの頭の体操、手だけ、足だけ、両方など、沢山のバリエーションがあり楽しかったです。

すぐには出来るものではありませんが、練習をすれば出来るようになるようです。

「レクゲーム」手作りレクゲームでレク式など夢中になり、なかなか思うようになりませんが、とても楽しかったです。

その後情報交換が行われ、各市女性スポーツ推進委員の現在の活動内容・悩み・問題点など各班に分かれて話し合いをしました。



28年度行事予定

- 4月17日(日) スポーツ推進委員研修会
 - 5月9日(月) シルバレー教室6回
 - 5月10日(火) シルバレー教室5回
 - 5月29日(日) シニアバスハイク龍王峡
 - 6月16日(木) シルバレー教室6回
 - 6月19日(日) 湯の丸市民ハイキング
 - 8月23日(火) シルバレー教室5回
 - 9月4日(日) ミニバレー大会
 - 9月25日(日) シルバレー大会
 - 10月2日(日) 尾瀬ヶ原市民ハイキング
 - 10月23日(日) フットサル大会
 - 11月13日(日) スポーツフェスティバル
 - 11月27日(日) ファミリーニュースポーツフェスティバル
 - 2月12日(日) おけがわふれんどリーフエスティバル
- 予定しておりますので、皆さんの参加をお待ちしております。詳しくは広報をご覧ください。

編集後記

2月14日予定していたおけがわふれんどリー大会は、小学生選手400名参加申し込みがありました。残念なことには天候不良のため中止になりましたが、来年も開催しますので是非多くの皆さんの参加を心よりお待ちしております。

編集委員・岩田真一・田坂めぐみ・長島房子・山下智弘・天沼好弘・小池尚道・木村恭子・清水大輔

